

よ さ の

水・緑・空

笑顔がやぐ ぶれあいのまち



第32号

2014年

4月25日発行

Yosano Town Council

# 議会だより



新年度予算	2
一般質問	4
請願・意見書	10

平成26年3月11日 全議員写真

平成26年3月定例会

# 加悦中学校 改築工事着手

総事業費 244,683万円 平成28年度完成予定  
財源 合併特例債205,830万円、国庫支出金28,000万円

一般会計当初予算(骨格予算)

111億5500万円



加悦中学校鳥瞰図

町長及び町議会議員選挙が4月に執行されるため、新規の施策を抑え、義務的経費を中心に編成された「骨格予算」となっている。

主な内容は社会保障関連費の増加や懸案であった加悦中学校の改築事業に着手することにより、平成25年度予算を上回ることとなった。

一方、財源確保にむけて昨年に引き続き、一般職給料を一律3%、特別職は5%削減を継続することにも、各種補助金に個人・企業ともに5%カットをお願いするなど厳

## 平成26年当初予算の概要

しい予算となっている。このようななか「与謝野町総合計画の後期基本計画」第2次行政改革

大綱に沿って地域防災計画の作成など住民の安心・安全を最優先した骨格予算となっている。



# 5億3,388万円

## 全員賛成で可決

(単位 万円)

区分	26年度予算額	25年度予算額	前年対比%
一般会計	1,115,500	1,099,100	1.5
特別会計区分	26年度予算額	25年度予算額	前年対比%
簡易水道	76,320	96,340	▲20.8
宅地造成事業	11,494	12,577	▲8.6
下水道	173,860	165,363	5.1
農業集落排水	4,160	3,810	9.2
介護保険	事業勘定 255,040	249,740	2.1
	サービス事業勘定 1,599	1,157	38.2
土地取得	35	35	1.7
国民健康保険	事業勘定 280,444	290,310	▲3.4
	直診勘定 7,889	9,800	▲19.5
後期高齢者医療	27,723	25,740	7.7
財産区	8,488	8,316	2.1
小計	847,052	863,188	▲1.9
一般会計・特別会計合計(A)	1,962,552	1,962,288	0.0
水道事業会計区分	26年度予算額	25年度予算額	前年対比%
収益的収入	17,478	14,509	20.5
収益的支出(B)	18,482	17,260	7.1
資本的収入	51	50	2.2
資本的支出(C)	7,306	7,422	▲1.6
総合計 A+B+C	1,988,340	1,986,970	0.1

## <新年度の主な事業>

(単位 万円)

- ・まちづくり人づくり補助金… 760万円
- ・緊急雇用対策事業… 1,692万円
- ・海の京都・美心与謝野事業… 650万円
- ・子育て世帯臨時特例給付金… 3,251万円
- ・地域防災計画策定事業… 470万円
- ・明石公民館新築工事… 9,513万円



建替えが予定されている明石公民館

## 3月定例会のよこす

3月議会は2月26日から3月19日までの会期で行われた。冒頭、町長挨拶の中で「体調に異変をきたし、次期4年間担うだけの体力に自信が持てない」と町長選挙不出馬を表明された。12月議会では最終仕上げをし

たいとの出馬表明されていたのでみんな驚きの初日であった。4月1日の告示を目前にあわただしいなか、町民生活の安心・安全に向けた骨格予算について熱心な質疑が交わされた。

一般質問は12名の議員が行った。

# 一般質問



「一般質問」は定例議会のみ行われるもので、行政全般にわたる議員主導による政策論議であるが、質問者も受ける執行機関も共に十分な準備が必要のため事前通告制となっている。「質疑」は提案された議案に対して疑問点を問いただすことです。

## Q 在宅介護の特区の取組は

### A 新たな形として追求したい



やすらの里 介護施設

**問** 福祉の拡充で介護が必要な人への施設整備や施策も整ってきた。個々人が送ってきた生活を維持し確保するため、新しいサービス体系が必要との結論から特区制度を導入してはどうか。狙いは介護費用の抑制と、最先端介護機器の導入、多機能型訪問サービスの拡大等で飛躍的に高齢者介護の質を高めるが。



勢簾 毅

**町長** 在宅福祉を支える基盤は飛躍的に増加したが、家庭における介護力は依然低下現象が続いている。より身近の中で、支え合い、安心して暮らせる地域をめざす必要がある。最先端介護機器の中で、特にアザラシ型ロボットについては、認知症の

症状緩和にも役立つものと聞いている。消防団強化の対応は

**問** 消防団の装備や処遇の改善を図ることが求められているが。

**町長** 団員の装備、資機材については順次計画的に更新、報酬面も府内でもトップクラスの手当としている。

**問** 加悦第3分団の詰所の建て替えは。

**町長** 27年度に計画している。

## Q 協働のまちづくりでまちは輝いたか

### A 輝きを増していると確信している



輝いている やすらの里

**問** 4年前の約束の重点課題を中心に、輝き度を見てみると、自治区活動、やすらの里、リフレはよく輝いている。現在進行中の加悦中学校改築、小学校の再編、ごみ処理施設、産業振興、ちりめん街道は輝き始めている。庁舎の統廃合と役場組織の見直しは曇っている。下水道分担金の時効や教育委員会の収賄汚職など、住民の信



塩見 晋

頼を損ねる事案もあったが、天候に例えると晴れと評価をする。

**町長** 取り組みたい10項目の重点課題が、住民との協働が町づくりの原点であり、人が輝き、町が輝くよう願っている。

### 公共施設の情報管理

**問** 今後、多数の公共施設の老朽化が進み維持補修費の増加が見込まれる。地方財政が厳しいなか、すべての施設補修に対応することは困難である。

利用者ニーズも変化しており、公共施設総量の検討をする「公共施設等総合管理計画」の策定が重要課題となる。

**町長** 合併後の規模に見合った公共施設の在り方を検討する。160余りの施設情報を記載した「公共施設台帳」の作成を進めている。

## Q TPPから町の農業を守り抜くのか

### A 総合計画に沿い、対応していきたい



TPPに負けない農業を

**問** 世界を食糧危機が襲っている。TPP参加すれば農水省試算でも穀物自給率が3%に。今もTPP反対は多数派。自由貿易万能主義から食糧主権へは持続可能な社会を求める世界の流れ。260兆円を越す大企業の内部留保を数%還元すれば、経済を活性化する道が開かれる。町の農業は



伊藤 幸男

中山間事業や命の里事業などを活用し、農家らの協働の取り組みが広がりは始めた。しかし安倍政権はTPP前提の農政改悪を進める方針。これでは町の農業の将来が暗い。①どうする町の農業②高齢化が進み独居世帯や老人世帯が急増。国の社会保障削減で年金が減らされ、家計のやりくりが困難という悲

痛な声を聞く。低所得層への配慮は町と納税者の信頼関係を築くこと。これは町の課税権の課題。納税は毎月均等支払いにすべきでは。

**町長** ①前の自民党農政に戻り、大きく変わった政策に柔軟に対応し、総合計画に沿って、大手量販店等の取引先との連携、再生産に見合う米作り、特A産地の継続と豆こめブランドの推進に取り組む。②考えでない。

**Q 産業振興の提言をどう受け止める**

**A 重要な提言であると受け止めている**



織物訓練センター

**問** 第1期産業振興会議の皆様より提言された「与謝野町中小企業振興基本条例」が平成24年4月に施行された。

その後、2期目の振興会議の皆様のご尽力により、昨年12月に町長へ「提言書」が提出されたことを、改めて感謝申し上げます。町にとって産業振興が重要な課題であると同時に、会議の皆さんの強い思いが伝わってくる。



和田裕之

4月からは消費税増税で、中小企業にとっては更に経営も厳しくなる。このような危機的状況のなかで、地域経済の担い手である中小業者を守り、地域の活性化を図ることは多くの住民の願いであると考えている。産業振興会議の提言でも示されている。

とおり、産業振興施策や町政運営に活かされ、「行政の責務」として早急に具現化する必要があると考えているが。

**町長** 現状と課題、施策展開にも踏み込んだ具体的な内容となっている。今後の産業振興とまちづくりを進めていく上での重要な提言と位置づけであり、今後の産業の継続・発展に大いに役立つことを願っている。

**Q 地域情報の把握は行政主導型で**

**A いざという時の体制づくりが大切である**



すすむ高齢化

**問** 当町では約800名の独居者がいる。また地域の協力が無いと生活することが困難である方も多く聞いている。いざという時は勿論、日常から連絡や協力の体制をしっかりと行政主導型で管理をすべきでは。現状は。

**副町長** 行政主導型と地域での取り組みを上手く組み合わせてきちつとした体制づくりの構築を



家城 功

進めていきたい。

**福祉施策について**

**問** 当町の福祉施策は府下でも最先端の取り組みが進められ感謝している。しかし、自宅で介護にあたら

れる家族の方への支援や、移送をお手伝いいただいている地域ボランティアの方へのガソリン代や保険代の一部を支援するなど、支える側の方たちへの配慮も大切な福祉施策であり、もっと力を入れるべきでは。

**町長** 家族介護者の懇親会を年一回開催し案内しているが参加者も少ない。多くの参加が得られる工夫を今後も検討したい。地域の移送ボランティアの方への支援については、補助の区分が不明確で難しいが、高齢化や過疎化が進む今後の状況を考えると必要性もあり今後調査研究をしたい。

**Q 農地管理機構は農地取得も可能か**

**A 農用地等の貸付を目的とするもの限り可能**



増える遊休農地

**問** ①京都市の管理機構の進捗状況 ②機構と町農林課・農業委員会との関係 ③基盤整備と農地取得

**町長** 「京都市農地中間管理事業推進基金条例」が施行されたところであり、機構が設立されておらず、まだ事業の詳細は不明である。京カ農場プランの作成主体である町と機



有吉 正

構は、農業委員会とも密接に連携を図ることが必要不可欠である。「農地中間管理事業の推進に関する法律」では「農用地等の貸付を目的とするもの」に限り取得することができる」となっている。そこに基盤整備がどのように関係するかは定かではない。

**パソコンの現状は**

**問** ウィンドウズXPが4月から停止予定だが、庁舎内、出先機関の状況と計画は。

**町長** 出先機関を含め308台(7・129台 X P・179台)であり、110台を7に更新、残りをピスタにバージョンアップの予定。

**問** 出先機関等で、ネット接続の速さが求められる部署にも配慮されているか。

**町長** 企画財政課長 各課の状況を調査のうえ対応している。

**Q 財務管理、徴収管理体制の確立を**

**A 共通システムでの管理の必要性は感じている**



加悦谷バイパス沿いの集積エリア

**問** 町長、副町長、各担当課の管理意識、権限、責務を問う。

**町長** 町長は町の組織を統括し事務を管理し、執行する。副町長は町長を補佐し、町長の命を受け政策と企画をつかさどり、また町長の指揮監督を受け副町長以外の職員が担任する事務を監督する。法に定められ、その通りだが、管理意識が問題ではないか。



多田正成

**町長** いずれにしても町長、副町長、職員全体が法令等を順守し、適正に執行しなければならぬ。管理意識は当然のこと、管理体制に共通システムが必要だ。

**副町長** 共通システム管理の必要性は認識している。今後

**商業集積エリアの考え方**

**問** 当町の商業集積エリアの国道沿いは農業振興地域から除外されている。大型店の出店も噂が出ている。今後のまちづくりのために、店舗規模など一定の規制が必要では。

**町長** 各種法令等に基づいた進出は拒むことは出来ないが、中小企業振興基本条例の制限の関係もあり、大型店の役割について強く要望していくことが重要と考えている。

**Q** 協働の町づくりが大きく前進

**A** 重要な視点で永遠のテーマ



進む 命の里事業

**問** 中小企業振興基本条例に基づく、産業振興会議の取り組み。命の里事業やリフレカヤの里などの農業の取り組み。地域で高齢者を見守り支援する与謝野町流域包括ケアの取り組み。公民館活動や防災の取り組みなど、この4年間で与謝野町の協働のまちづくりは大きく前進した。これは、太田町長の力はすばらしいが、そ

れだけではなく、住民、職員、議会などが力を合わせて進めてきたものと思う。野田川町時代からの19年間の町長職、ご苦労さんでした。私も、引き続きまちづくりに取り組んでいきますが、町長も体を大切にされ、ご活躍ください。



野村正八

**町長** 総合計画の、自助、協働、商助、公助の理念に基づき取り組みを進めてきた。言われる通り、様々な分野で、協働の取り組みが進んできた。これは、みんなの力が合わさってきたもの。今後引き続き前進するよう期待している。

**Q** 災害時応援協定の選定理由は

**A** 町の規模が比較的近い



災害時対応は万全

**問** 地震・風水害、その他の災害等において、島根県津和野町、三重県明和町、奈良県斑鳩町の3町と災害時応援協定を締結したが、その3町を選ばれた理由は。また、各町の訓練に担当者が交流することで、内容の充実が図れると思うが。

遠隔地域は、お互いに同一災害による被災の可能性が低いこと、町の規模が同程度であることが協定を締結した理由です。応援協定に基づいた相互訓練をすることの重要性は極めて高いと考えている。昨日の防災訓練では、3町と情報伝達訓練を実施した。



宮崎有平

岩滝大名行列の開催は

**問** 平成23年に行われた大名行列の今後の開催計画を問う。

**町長** 保存会を中心に平成33年開催を目標に実行委員会の組織づくりを進めることも、必要額の積み立てを検討する。また、必要経費の圧縮を進め、支出項目の見直し、行列規模の縮小なども保存会と連携して検討する。

**Q** まちづくり観光海の京都と地域振興

**A** 民間主導で自走できる仕組みと人を創る



“海の京都”で地域振興を

**問** 官も民も同じ与謝野町を愛する仲間、テーブルが熱くなるほど皆で語った現状と課題。海の京都マスタープランが発表された。この計画を具体化していくのには、まず、天橋立駅改修のように「みえる」事業が必要であるが、本町は「着地型観光」の先進地になれる可能性は十分ある。

昭和モダンな町並みづくりをちりめん街道で実行する



杉上忠義

公共施設の統廃合を

**問** 国は、公共施設を撤去するため「地方債」を認めるとした。人口減少や市町村合併で公共施設が過剰になり始めているからだ。「撤去債」(仮称)発行を希望する自治体には「公共施設等総合管理計画」の作成を求めているが。

**町長** この計画の策定は当然行っ町民皆で検討する資料作成に取り組み始めたところである。

**Q** 若者世代の声を町政に

**A** 若者の気概に期待したい



若者が住むまちに

**問** 与謝野町においても少子化が進んでいる。人口に占める若年者の比率の低下もさることながら、若者の声が政治の現場に反映されにくい状況があるように思われる。当町が持続可能なまちであり続けるためには、将来を担う世代の声がより届けられるような仕組みの確立と若者政策の推進体制をより強固にしていくな

必要があると考えている。



山添藤真

**町長** 若者世代が当町で暮らし続けるために、産業・子育て・教育など幅広い取り組みを実施している。

**町長** 確かに将来世代に対する取り組みは幅広く実施されている。しかしながら、より良い施策にしていくためには、当事者たちの意見を体系的に集約できる仕組みを構築するべきだ。なんでもやってみようという気概が若者の魅力。役場に頼らなくてもよいよう、がんばってほしい。

# Q 三河内東本線から中央線を水戸谷まで

## A 今日までの投資を将来に活かすことは重要



残土置き場の野田川中央線

**問** 野田川中央線は平成5年に工事が中断、何等進展のないまま20年の歳月が流れた。また三河内東本線も、奥山川までの行き止り。中央線が277m、工事費約一億円。三河内本線は681m、工事費約2億6千万円が投資されているが、このままでは宝のもちぐされに等しい。『なぜは成る、なぜなれば成らぬ何事も』



井田義之

南北線は町のメイン道路であり、東西線は連絡道である。東本線から中央線に、そして水戸谷まで延伸すれば、町の活性化、災害時の有効活用も出来る。『与謝野町が丹後の中心』を目指し、今日までの投資を活かす工夫が必要だ。

**町長** 三河内東本線は概略設計を实施了。方線上に大藪団地の整合を計り三河内明石線までの接続を進めたい。中央線はすでに買収用地もあり、様々な角度から検討が必要と思う。『町の将来に向かって時間を掛けても投資を無駄にせず将来構想を』については、将来に活かす方向は重要であると思うが、私からの発言は控えたい。

### 請願

雇用の安定を求める意見書の採択に関する請願書

請願者 ▼ 連合京都北部地域協議会議長

紹介議員 ▼

後藤 義邦氏  
有吉 正

(全員賛成で採択)

ウイルス性肝炎・肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成の拡充などに関する請願書

請願者 ▼ 舞鶴ウイルス性肝炎を考える会代表

紹介議員 ▼

世話人 与謝野町男山

三宅 あき氏  
竹島香代子氏  
糸井 満雄

(全員賛成で採択)

大型小売店舗の秩序ある町内進出に関する請願書

請願者 ▼ 与謝野町商工会会長

紹介議員 ▼

安田 光孝氏  
谷口 忠弘

(全員賛成で採択)

子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための教育予算増額、教育諸条件の整備・充実を求める請願書

請願者 ▼ 与謝野町三河内

紹介議員 ▼

上山 昭司氏  
伊藤 幸男

(賛成少数で不採択)

### 意見書

ウイルス性肝炎・肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成の拡充並びに検査体制の拡強化を求める意見書

提出者 ▼

文教・厚生常任委員会委員長

野村 生八

(全員賛成で採択)

雇用の安定を求める意見書

提出者 ▼

産業・建設常任委員会委員長

多田 正成

(全員賛成で採択)

### 表彰

全国町村議会議長会表彰

● 27年以上在職者

伊藤 幸男 議員

● 15年以上在職者

勢旗 毅 議員

京都府町村議会議長会表彰

● 11年以上在職者

杉上 忠義 議員

谷口 忠弘 議員



## 3月定例会 賛否一覽

賛否の分かれた議案のみ掲載

○印は賛成 ×印は反対

(議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案成否を決定します)

子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための教育予算増額、教育諸条件の整備・充実を求める請願書

賛成	反対	野村生八	和田裕之	有吉正	杉上忠義	塩見晋	宮崎有平	伊藤幸男	浪江郁雄	家城功	山添藤真	小林庸夫	多田正成	井田義之	糸井満雄	勢旗毅	谷口忠弘	今田博文	赤松孝一	
3:14		○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—

### お知らせ インターネットによる議会ライブ中継の終了について

与謝野町議会では、インターネットによる本会議のライブ中継を、セキュリティ(安全性)の関係により、平成26年3月末をもって終了することといたしました。4月以降は、与謝野町有線テレビ(KYT)による生中継及び録画放送でご覧いただきますようお願いいたします。

### 編集後記

この2年間、広報委員会では与謝野町の明日に向けて議会活動は何ができていくのか、町の現状はどのようなことなのか、このような情報的一端を限られた紙面で編集してまいりましたが、充分伝わりませんでしたでしょうか。少子高齢化、人口減という根本的な大きな流れが急速に進行するなか、住民生活の維持向上にむけて、さまざまな課題が山積しており、これからは町民の皆さまの協力が一層求められる時と思います。広報委員会も4月からは新体制のもと、スタートいたしますが引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。

広報委員長  
副委員長

小林庸夫  
伊藤幸男  
糸井満雄  
今田博文  
野村生八  
宮崎有平  
山添藤真



与謝野町

議会だより

第32号

発行：与謝野町議会  
住所：〒629-2499

編集：与謝野町議会広報特別委員会  
京都府与謝野町与謝野字加悦（加悦庁舎3階）

TEL:(0772)43-0215  
FAX:(0772)43-1555

URL:http://www.town-yosano.jp  
E-mail:gikai@town.yosano.lg.jp

まちの宝

子どもページ

## ちびっこ元気クラブ

町内では最多の登録人数の「ちびっこ元気クラブ」。加悦小・中グラウンド前の道を挟んだ「加悦福祉センター」の二階にあります。

階段をあがると、保育室。玄関入ってすぐの廊下には指導員とかわいい魚が子ども達の帰りを今か今かと待っています。

うがい・手洗いの後は、お楽しみの『おやつ』。お友達との会話を楽しみながらほおばります。おやつ後は、宿題をがんばる子、ごっこ遊びを楽しむ子、縄跳びで思いっきり体を動かす子とさまざまです。

ある日たくさんいただいた新聞紙を活用して、『新聞プール』が完成。お友達や指導員に向かって投げ合ったり、布団にして寝てみたり、新聞にもぐってかくれんぼや宝探しをしたりして、狭い保育室の中で思いっきり手足をのばして遊ぶことができました。

もうすぐ新学期。新一年生も加わり、学童の雰囲気も変わるとは思いますが、上級生のお兄ちゃんお姉ちゃんが引っ張っていってくれることを期待します。



がんばっています

## 与謝野町立古墳公園

丹後王国古墳公園

保存会合同会社

与謝野町立古墳公園は、昨年四月より町の指定管理者制度により「丹後王国古墳公園保存会合同会社」として発足しました。顧みることこの一年、春の子供まつり、秋のプロによるライブ、冬のそば打ち体験を行い、皆様のご協力を頂きながら無事大成しました。心よりお礼申し上げます。

二年目の今年は、ゆるキャラがデビューします。名前は「はにこん」、秋のライブ時に命名しました。一つ自慢させて頂くと「はにこん」は全てスタッフの手作りです。雪降る時を利用し、知恵を出し合い、時には右往左往しながら完成した次第です。

町民の方からも、来園のお客様からも「綺麗な公園」のお言葉を幾度となく頂き、春には枝垂山桜も咲きます。町民の皆様のすぐそばに立派な古墳や、太古の呼び名「カニツ」のとおり、秋には黄金一色の美しい景色が一望できます。ふるさと再発見として是非お越しくださいませ。もちろん手作り「はにこん」とお出迎えます。



01\_01\_2012\_1/2363\_E7\_9\_13050